

「主は皆さんとともに」

京丹ブロック担当司祭 崔 聖煥

イエス様は復活されて弟子たちと再びお会いになりました。その時に、おっしゃった言葉が「あなたがたに平和があるように」という挨拶です。復活されたイエス様と会う前の状況を考えてみると、この挨拶は考えられない言葉にちがいないでしょう。

イエス様が復活されて現れる直前、イエス様と弟子たちの間にどんなことがあったのですか。ユダは銀貨三十枚でイエス様を裏切つたし、ペトロは三度もイエス様のことを知らないと言いました。他の弟子たちはイエス様が逮捕されると、皆ばらばらになって逃げてしまいました。このように、イエス様はあまりにも愛した弟子たちから裏切られました。こんなことがあって、まだ三日しか過ぎて

なかったのです。

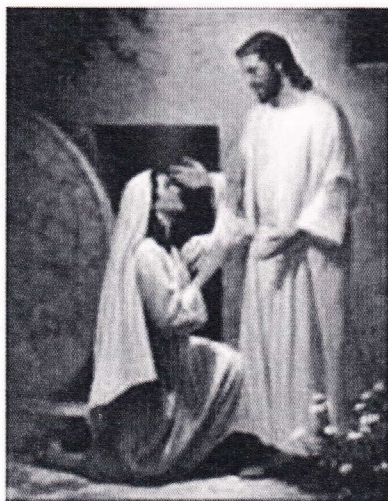
それでもイエス様は弟子たちに現れて、このように挨拶されたのです。「あなたがたに平和があるように」と。彼らを裁くこともなく、彼らにがっかりすることもなかったのです。ただ平和のうちにとどまるよう祝福してくださいさるのです。この挨拶には、イエスを裏切った弟子たちに対する、イエス様ご自身の気持ちがよく込められていると思います。感った彼らの心を顧み、先に許してくださいさいます。むしろ罪悪感にとらわれた弟子たちが、心を入れ替えて、完全に自由になることを望んでおられるのです。



子どもたちに話しかける崔神父様

弟子たちに対する、このようなイエス様の気持ちは、わたしたちにも同じです。わたしたちは、イエス様を信じ、従っているといつても、日常生活の中でイエス様のことを知らないふりをしたり、イエス様の心を傷つけたりすることが多いです。それで、わたしたち自身が、イエス様の前で罪悪感に苦しめられるようになります。このようになわたしたちにも、イエス様は先に挨拶してくださいさいます。

「あなたがたに平和があるように」と。
ごミサの聖体拝領の前、司祭は「主の平和が皆さんとともに」と言います。わたしは、皆さんが自由な心をもってご聖体をいただくことができるよう、そのような気持ちを込めて皆さんに挨拶しています。その後、皆さん同士が「主の平和」と挨拶を交わしますが、許されて自由になった自分が、今度は「主の平和」と言いながら、周りの人を許してあげるのはいかがでしょうか。また、許された喜びのうちに、そしてイエス様と一つになる喜びのうちに、大声で「主の平和」と挨拶するのはいかがでしょうか。



どこだろう・何だろう？

教会のどこかで撮影したスナップ写真です。

これが何だかわかりますか？

初級



正解は広報部員まで